

オープンアクセスの国際的動向と 日本における即時OAについて

電子ジャーナル購読にかかる支出額が年々増加し、研究環境をどう整えていくかが課題となる中、ジャーナル契約やオープンアクセスの世界的な動向を踏まえた検討が求められています。

また、2025年度から新たに公募を行う競争的研究費制度による  **学術論文及び研究データの即時オープンアクセスが義務化**されます。

理工系学術誌の出版や学術情報の流通にかかわるプラットフォーム開発等を経験し、現在、国立情報学研究所が共同利用研究基盤として提供するNII Research Data Cloudの統括および海外連携を担当するなど学術情報のオープン化に携わり、内閣府オープンサイエンス推進検討会、文部科学省ジャーナル問題検討部会委員等を歴任された谷藤幹子氏を講師にお迎えし、オープンアクセスの最新動向についてお話しいただきます。

日時

2024年10月29日(火) 14:30~16:00 (14:00開場)

会場

中央図書館B棟1階ライブラリーホール
(Zoomによる同時配信あり)

対象

新潟大学の教職員・大学院生

参加方法

以下のフォームからお申し込みください。
URL: <https://forms.office.com/r/c5AUcLcuW4>
[締切：10月24日(木)]
*会場参加の場合は当日参加も受け付けます。



プログラム

14:00-14:30

受付 [ライブラリーホール入口]

14:30-14:35

開会挨拶 澤村 明 (新潟大学 理事(評価・教員組織担当)・副学長)

14:35-15:35

講演 「オープンアクセスの国際的動向と
日本における即時OAについて」
谷藤 幹子 氏

(国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター 副センター長)

15:35-15:40

「本学における即時OA対応およびAPCについて」

棚橋 是之 (新潟大学 学術情報部 学術情報管理課長)

15:40-15:55

質疑応答 司会：高橋 菜奈子 (新潟大学 学術情報部長)

15:55-16:00

閉会挨拶 岡崎 篤行 (新潟大学 学術資料運営機構 附属図書館長)

主催：新潟大学学術資料運営機構附属図書館
問合先：学術情報部学術情報サービス課情報調査係
TEL:025-262-6219 E-MAIL: c-sougo@lib.niigata-u.ac.jp